



# 名古屋都市センター研究成果

平成24年度の研究の概要を紹介します。  
なお研究報告書は名古屋都市センターのまちづくりライブラリーで、  
概要版はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nui.or.jp>

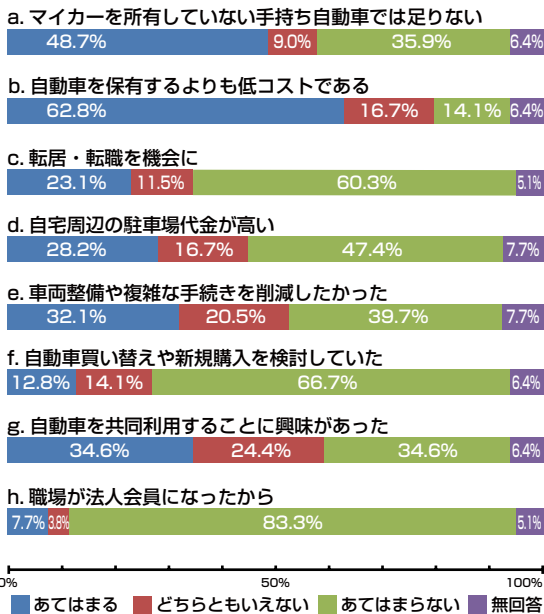
## 特別研究

### 研究テーマ 名古屋市の総合交通戦略の導入の評価

名古屋工業大学 金森 亮

交通戦略の導入評価の一環として、カーシェアリングの利用実態の把握を目的にWEBアンケート調査を行った。名古屋地域を中心にサービス展開している名鉄協商カーシェアリングサービス「カリテコ」の協力を得て、カリテコ会員と非会員（名鉄協商パーキング会員）を対象とし、491名から回答頂いた。

現在は地下鉄沿線にステーションが集中しており、元々自動車保有者が少ない地域の居住者が会員になっている可能性もあるが、カーシェアリング会員は非会員に比べて世帯の自動車保有台数が少なく、0台が約38%、1台が約37%であった。また会員の入会理由をみると（下図）、「保有するよりも低コスト」が最も割合が高く、自動車保有に対して購入費や維持費の削減が魅力となっている。一方で「自動車買い替えや新規購入を検討していた」の割合は約13%と低く、今回の回答者は新規購入や買い替えが契機となって会員になることは少なかった。カーシェアリングへの興味も約35%と低くはなく、時代背景や環境意識などが影響していると考えられる。



サービス拡充に対する利用意向をみると、利用増加には貸出場所を多くし、アクセス距離を短くすることに対して多くの人が望んでいる。さらに乗り捨て方式導入に関しては会員で約76%、非会員で約67%があてはまると回答しており、利用意向は非常に高い。しかし乗り捨て方式は自動車の駐車場の偏り（需要の偏在）という問題が発生することが懸念されており、運営コストを増大させる可能性が高いシステムでもある。今後、乗り捨て方式の導入には利用者の需要推計と効率的なステーション配置計画、予約システムの高度化（推薦機構の組合せ）などが検討課題として挙げられる。

## 自主研究

### 研究テーマ 名古屋市における道路構造の在り方について

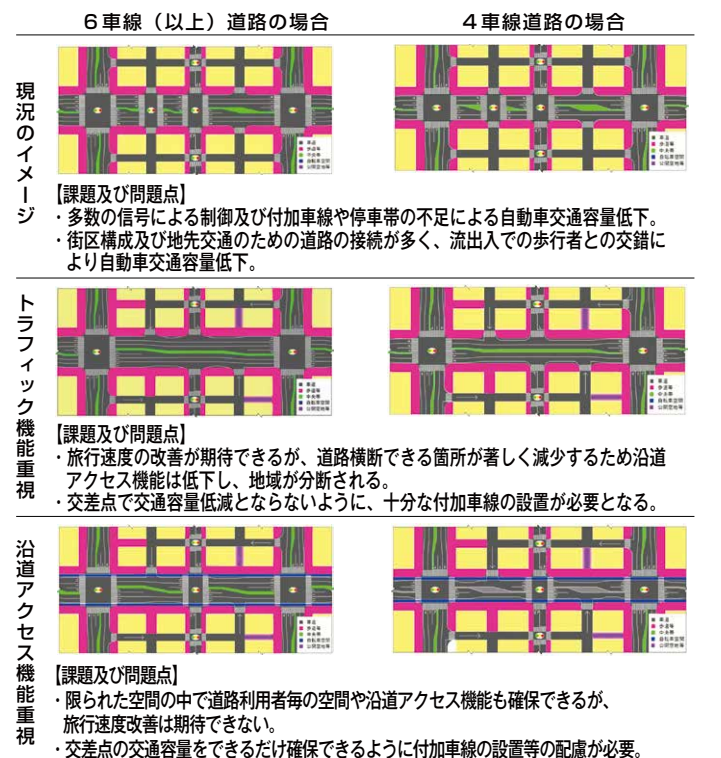
元名古屋都市センター 調査課 研究員 大谷 将之

名古屋市における自動車交通状況と「道路構造令」における自動車交通の考え方を比較した結果、2車線道路は比較的求められた自動車交通容量に対応できている一方、多車線道路では対応できていないことが推察された。

#### 【都市部における一般道の自動車交通状況】



この多車線道路を対象に市街地環境の改善やまちの賑わい醸成及び災害時における道路の役割を踏まえ、名古屋市の道路構造を2つの機能を重視したパターンで考えた。



この研究を通じて、どのような道路機能を求めていこうかが道路資産を有するものとして重要なことだと感じた。

レポート  
テーマ

シンガポールの都市政策 vol.2  
緑豊かなコンパクトシティ

レポート  
テーマ

シンガポールの都市政策 vol.3  
弱みを強みに変える水施策

名古屋都市センター アジアまちづくり研究会

シンガポール島という限られた国土において、自国の産業発展とそれを支える都市基盤整備を目標に掲げたシンガポールにとって、土地の有効活用は政策の中心に位置づけられていた。コンセプトプランと呼ばれる土地利用・都市づくりの総合計画を策定し、公共交通を中心とした住宅整備等を進めることでコンパクトな都市づくりと同時に、豊かな緑や歴史的地区の保存など、個性・独自性を重視したまちづくりが進められる。

コンパクトな都市づくりは、公共交通網を発達させ自家用車使用を抑える交通政策と、HDBと呼ばれる住宅団地の整備を一体として進めることで実現される。住宅の取得には、年金制度を活用できる仕組みが整えられ、国民の8割超がHDB住宅に住む。こうしたHDB団地は、都心と繋がる公共交通(MRT)の駅周辺に配置され、MRT駅を利用するHDB団地の住民が利用しやすいよう、図書館が各方面へバランスよく分散配置されている。

個性を活かしたまちづくりは、「City in the Garden」をコンセプトとする緑化政策や、中心市街地の約4%を歴史的地区に指定するなど、積極的に進められる。この歴史的地区では、道路へのあふれだしが観光客を引き寄せるものとして誘導され(他地区では禁止)、観光部局と地元組織によりマネジメントされる。

こうした、シンガポールの都市基盤・土地利用の基本的な考え方は、非常にシンプルであるため、分かりやすく、シンガポール住民にとっても、来訪者にとっても、合理性と快適性を同時提供することにつながる。さらに「誰が、どう使うのか」という視点を忘れずに、施策同士の連携や、しくみづくりを進めている。シンガポールは、こうした目的意識を持ったまちづくりを行うことで、都市ブランドを確立し、人々を惹きつける創造都市へと生まれ変わろうとしている。



MRT 路線と HDB 団地、図書館配置 (Google map に加筆)

アジアまちづくり研究会は、名古屋都市センターをプラットフォームとする名古屋市職員有志による研究会です。

名古屋都市センター アジアまちづくり研究会

国土が狭く水源に乏しいシンガポールは、隣国マレーシアからの水輸入に頼らざるを得ないなど、長年水不足に悩まされてきた。しかしながら近年は、世界の水研究・ビジネスの中心「ウォーターハブ」になることを目指し、政府主導で積極的かつ戦略的に水施策の世界展開を進めている。

水資源確保に向けて、貯水池の整備、下水再生水(下水処理水を高度に再処理)や海水淡水化技術の開発や施設整備に力を注いでいる。2008年に整備が完了したマリナ・バラージは、シンガポールを代表する貯水池であり、洪水調節機能や、水上スキーやカヌーなどのマリンスポーツを1年中楽しむことができる場所としても整備されている。また、下水再生水は「ニューウォーター (NEWater)」というブランド名で提供を行っている。



マリナ・バラージの全景

危機的な水不足という問題を乗り越えようとする中で、シンガポールはさらに水ビジネスの分野で大きな発展を遂げている。成功している要因は「政府の強力なリーダーシップ」「明確な目標設定と戦略立案」「良いものを積極的に外部から取り入れる開放政策」「積極的かつ戦略的情報収集及び発信」等であり、世界に向けて積極的かつ戦力的にPRを行う都市の姿が最も印象に残る。



NEWater ビジターセンター

多くの偉大な先輩たちが築いてくれた名古屋の上下水道を「武器」とし、「知恵」と「志」を加えてシンガポールのように目線を世界に向け、さらなる発展のために貢献していきたい。

「シンガポールの都市施策」は、すべて下記 URL からダウンロードできます。

vol.1 海外投資を呼び込む都市戦略 <http://www.nui.or.jp/kenkyu/23/index.html>  
vol.2 及び vol.3 <http://www.nui.or.jp/kenkyu/24/index.html>

**ACTIO**

指定管理者制度、公共施設の管理・運営  
イベント運営の総合プロデュース企業

アクティオ株式会社

URL: <http://www.actio.co.jp>

花梨サマービアパーティプラン

2013.7.1(月)~8.31(土) ※6名様より・要予約

29F中国料理「花梨」

Dinner 1名様 ¥8,500 (全10品)

◎フリードリンク(2時間)付 ※税金・サービス料込



ANA  
CROWNE PLAZA  
HOTEL GRAND COURT NAGOYA

〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1  
[www.anacrowneplaza-nagoya.jp](http://www.anacrowneplaza-nagoya.jp)

ご予約・お問い合わせ Tel.052-683-4111(代)